

家庭教育力の向上

協働的なPTA活動の実現

一宮市立西成中学校PTA

1 はじめに

本校は、昭和22年に開校して79年目を迎え、卒業生15,000人を超える歴史と伝統のある学校である。一宮市の北東部に位置しており、田畑と住宅地が混在する自然豊かで落ち着いた環境の地域である。また、昭和15年に一宮市に合併するまでは、『丹羽郡の西の端の肥沃な土地』という意味から、西成村と呼ばれていた。この『西成』という地名は、100年以上の古い歴史がある。

西成小学校、瀬部小学校の2つの校区からなる本校は、生徒数421名、学級数12、特別支援学級3の規模である。教育目標『命を尊び、夢と希望をもち、未来を豊かにたくましく生きる力を身につけた生徒の育成』の具現化をめざし、生徒一人一人を大切に、全教職員が協力して、着実に豊かな教育活動を推進している。生徒たちは『我ら西中生』、教職員は『我ら西中教職員』を合言葉に、チームワークを大切にして、『学び合う・認め合う・笑顔あふれる学校』づくりをめざしている。



【西成中学校正門・校舎】

2 研究への取組

(1) PTA組織と活動内容

<PTA組織>

総 会：本校生徒の父母及び教職員

本部役員：会長1名（兼 健全育成会会長・学校運営協議会委員）・
副会長2名（兼 健全育成会協力員・学校運営協議会委員・
なお、副会長1名は家庭教育委員）・会計2名・書記2名・
会計監査1名・各学年2名ずつの委員6名・顧問2名の
16名（内3名は教職員）で組織されている。

地区委員：各地区2名

<活動内容>

基本的な計画を本部役員会で立案・検討している。活動内容は、体育祭や合唱コンクールなどの学校行事への協力、情報モラルの啓発活動、学校保健委員会への参加、登校時のあいさつ運動、街頭指導等の活動を行っている。また、地区委員には、地域の安全に関する情報提供をしてもらい、生徒の登下校の安全指導に役立てている。

(2) 研究のねらい

本校のPTAは、家庭、学校及び社会の協力による生徒の心身の健全な発達と福祉の増進を目的に活動している。そして、地域の協力を得るため、校区の青少年健全育成会や学校運営協議会に、PTA会長と副会長が参加している。

家庭教育力は、さまざまな人たちとの関わりの中で育成されていくものである。学校・家庭・地域が一体となって協働することで、より多くのPTA会員が教育活動にかかわる機会を増やすことができ、みんなでPTA活動をつくり上げていく意識を高めることができる。そうすることで、生徒の健やかな成長を支えることができると考える。

3 実践活動の概要

(1) 学校行事

PTA本部役員が、体育祭や合唱コンクールなどの学校行事の支援を担っている。不審者対策をはじめ、来賓・保護者受付や会場案内、来校者の自転車の誘導・整頓などに携わることで、教職員が生徒と活動できる時間の確保に努めている。

PTA活動は、学校行事の後方支援だけでなく、体育祭においては、『子どもと一体に』というPTA本部役員会の強い思いから、保護者参加型の取り組みが企画されている。

本校は、各学年から1クラスずつで構成された縦割の群団活動を行っている。群団ごとに象徴する色があり、その色を取り入れた旗をつくり、スローガンを掲げて活動している。また、生徒は群団色のハチマキをつけて応援や各競技に参加している。この群団活動に、保護者全員が群団色のグッズ（昨年はバンダナ、今年はタオル）を身につけて応援する。『子どもと一体に』を合言葉に、体育祭を親子で大いに盛り上げている。

参加した保護者からは、「子どもの所属する群団を応援することができて、楽しかった」などの感想を聞くことができ、充実した企画となった。



【体育祭の支援】



【合唱コンクールの受付】

(2) 情報モラルの啓発活動

西成中学校区では、青少年健全育成会や3校のPTA・学校運営協議会で協力しながら、子どもたちのスマホなどの電子メディアに対する、適正な利用に向けた活動を行っている。

① 『西成中学校区ケータイ・スマホ3カ条』

一宮市小中学校PTA連絡協議会から出されている『携帯電話・スマホ等の適正な利用に向けて』を受けて、校区で取り組んでいるのが、『西成中学校区ケータイ・スマホ3カ条』である。正しい情報モラルを身につけ、情報社会を安全に健康的に過ごしていくために定め、校区全体へ呼びかけを行っている。そして、夏休みに入る前に、校区の小中学校から保護者宛文書として配付し、家庭へ周知して協力を促している。

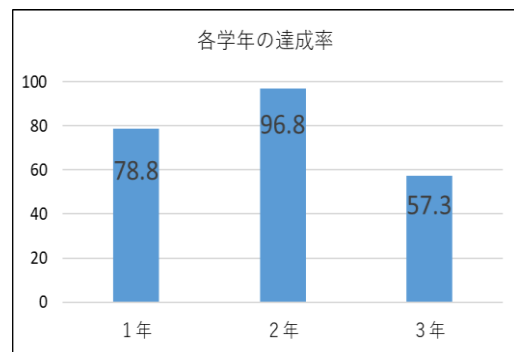
西成中学校区ケータイ・スマホ3カ条

- 1 親子で約束を結びましょう。
(フィルタリングサービスを利用しましょう。)
- 2 小学生は、夜8時以降の使用を控えましょう。
中学生は、夜9時以降の使用を控えましょう。
(特にSNS等でのやりとりを控えましょう。)
- 3 人が嫌がることはしません。
(悪口や個人情報は載せません。)

【西成中学校区の取組】

② 『メディアコントロール週間』

さらに家庭への協力を進めたのが、『メディアコントロール週間』である。中学校の年2回の期末テストの期間に合わせて、校区の小学校にも協力してもらい実施している。目的は、電子メディアとの関わり方の見直しと、生活リズムの乱れを改善し、睡眠時間や家庭学習の時間を増やすことである。目標は、『娯楽のためのメディア使用時間を、普段の半分以下にする』ことであったが、各家庭の協力もあり、中学校では、各学年とも高い達成率をあげている。また保護者から、「親子間のコミュニケーションの時間が増え、良い機会であった」と感想をもらっている。



【メディアコントロールの集計結果】

(3) 学校保健委員会

教職員と保護者を対象に、生徒の健康と安全を守る取り組みとして、消防士の方を学校に招いて『救命救急法講習会』を実施している。誰にでも起こりうる熱中症の対応と事故が起きてしまった時のAEDによる心肺蘇生の方法を学んだ。未然にどう防ぐことができるのかという観点でもご指導をいただいた。「こういう機会がなければ、なかなか学ぶことがないので、有意義であった」などの保護者の感想も聞かれ、いざというときに命を守ることができるようになるためのよい機会となった。



【救命救急法講習会】

(4) あいさつ運動

登校時間に合わせて、P T A本部役員と生徒会役員、生活委員会、募集したボランティアの生徒、教職員であいさつ運動を行っている。参加した保護者からは、「朝から元気の良いあいさつが飛び交い、自分にも大きなあいさつを返してもらえて自然と笑顔になれました」などの感想を聞くことができた。「P T Aの方が一緒だと、子どもたちのあいさつの声が大きくなる」という教職員の声もある。



【あいさつ運動】

(5) 街頭指導活動

地域における生徒の安全を守る取り組みとして、P T A本部役員と教職員が、年間で何回か街頭指導活動を行っている。校区より少し離れた場所には大きな商業施設があり、生徒たちがトラブルに巻き込まれる心配がある。短い時間の見回りにも関わらず、多くの生徒に遭遇する。心配するようなことはなかったが、トラブルが起きやすい場で知っている大人の目があることは、生徒の安全を守る上でも大切なことだと考える。また、学校周辺の店舗を巡回して、協力を要請し、問題行動の未然防止を啓発するパトロールを実施している。これからも、地域の方の力を借りながら、生徒にとって安全・健全な環境を整備するための活動を継続していきたい。



【街頭指導活動】

4 おわりに

『協働的なP T A活動の実現』を掲げ、P T A活動と学校運営協議会、青少年健全育成会との相互連携を図ってきた。中でも、校区の小学校にも協力依頼して取り組んだ『メディアコントロール週間』や『子どもと一体に』という合言葉で行われた体育祭は、子どもの健康や安全、保護者間のつながりを特に感じることができ、家庭教育力の向上の一助になっていると感じた。

学校・家庭・地域が、子どものために協働できるということは、P T A活動を行う上で大きな力になると言える。これからも学校・家庭・地域が連携し、さらに家庭教育力を高めながら、子どもたちの健やかな成長を支えていきたい。